

トカラ列島・宝島, 11月の昆虫類

江平憲治*

Insects of Takara-jima, Toshima-mura, Kagoshima Prefecture,
surveyed in November, 1994

Kenji Ehira

1994年11月2日~9日の8日間, 鹿児島県トカラ列島最南端にある宝島において, 昆虫類を中心に調査及び資料収集の機会を得たのでここにその記録を報告する。昆虫類以外ではトカラハブ及びアオカナヘビの生態写真撮影等を行った。宝島の動物については, 1993年10月に当館職員の黒江修一氏が調査し, 本誌の前号(13号)に報告されているので今回はその追調査ということになる。今回の調査にあたり, 民宿トカラ荘の岩下憲雄氏にはトカラハブの採集に同行させていただき, またトカラハブの生態などについて教えていただいた。紙面を借りて深く感謝の意を表する。

1 昆虫類

種名の配列及び学名は, おもに平嶋義宏(1989)・日本産昆虫総目録によった。採集及び目撃記録はすべて筆者で, 同定はおもに筆者が行ったが, ハチ目については山根正気氏(鹿児島大学理学部助教授)にご教示いただいた。なお, ※印の種は(カラー写真)参照。

(採集及び目撃記録)

I トンボ目 ODONATA

ヤンマ科 Aeschnidae

ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer, 1865

(1♀, XI-3) 畑地や路上などの開けた所や, 水源地のため池等で普通に目撃。

トンボ科 Libellulidae

ハラボソトンボ *Orthetrum sabina sabina* (Drury, 1770)

(1♂, XI-3) 水源地のため池やその周辺で多数目撃。

オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania* (Selys, 1883)

(1♀, XI-4) 牧場の牛の水飲み場付近で数頭目撃。

ハネビロトンボ *Tramea virginia* (Rambur, 1842)

(1♂, XI-3) 水源地のため池やその周辺で数頭目撃。

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius, 1798)

各地で多数目撃。

* 〒892: 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

II カマキリ目 MANTODEA

カマキリ科 Mantidae

ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera* (Serville, 1839)

(褐色型の1頭, XI-5) 緑色型, 褐色型ともフヨウの葉上などでよく見かける。褐色型はフヨウのつばみの色・模様にそっくりである。

チョウセンカマキリ *Tenodera angustipennis* Saussure, 1869

(褐色型の1頭, XI-3) 緑色型, 褐色型ともフヨウの葉上などでよく見かける。

III バッタ目 ORTHOPTERA

キリギリス科 Tettigoniidae

ヒメクダマキモドキ (?) *Phaulula gracilis* (Matsumura et Shiraki, 1908)

(1♀, XI-2, 2♀, XI-3)

バッタ科 Acrididae

ショウリョウバッタ *Acrida cinerea* (Thunberg, 1815)

(1♂, XI-2; 1♂, XI-6)

マダラバッタ *Aiolopus tamulus* (Fabricius, 1798)

(1♂, XI-3)

タイワンハネナガイナゴ *Oxya chinensis formosana* Shiraki, 1937

(1♂, XI-2; 1♀, XI-3; 1♀, XI-8)

ツチイナゴ *Patanga japonica* (Bolivar, 1898)

(1♂, XI-2; 1♀, XI-3)

アマミフキバッタ *Sinopodisma punctata*

(1♂, XI-3; 1♂, XI-5) 路上に飛び出してくる個体など, 個体数は多い。

IV カメムシ目 HEMIPTERA

セミ科 Cicadidae

クマゼミ *Cryptotympana facialis facialis* (Walker, 1858)

(死骸の1♀, XI-5; 死骸の1♀, XI-7; 羽化殻1頭, XI-7)

クロイワツクツク *Meimuna kuroiuae* Matsumura, 1917

(死骸の1♂, XI-6; 死骸の1♂, XI-7; 1♀, XI-8) ときどき鳴き声を聞くが, あまり多くない。

サシガメ科 Reduviidae

ビロウドサシガメ *Ectrychotes andreae* (Thunberg, 1784)

(1頭, XI-3)

ホシカメムシ科 Pyrrhocoridae

※ アカホシカメムシ *Dysdercus cingulatus* (Fabricius, 1775)

(1頭, XI-2) フヨウのつぼみなどにいる幼虫, 成虫をときどき見かける。

ヘリカメムシ科 Coreidae

ホオズキカメムシ *Acanthocoris sordidus* (Thunberg, 1783)

(1頭, XI-5)

ハリカメムシ *Cletus rusticus* Stal, 1859

(1頭, XI-2)

マルカメムシ科 Plataspidae

マルカメムシ *Megacopta punctatissima* (Montandon, 1894)

(1頭, XI-6)

カメムシ科 Pentatomidae

チャバネアオカメムシ *Plautia crossota stali* Scott, 1874

(1頭, XI-8)

V コウチュウ目 COLEOPTERA

オサムシ科 Carabidae

キアシツヤヒラタゴミムシ *Synuchus callitheres callitheres* (Bates, 1873)

(2頭, XI-2 ; 1頭, XI-5) 民宿の家屋内にて採集。

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

ヒメゲンゴロウ *Rhantus pulverosus* (Stephens, 1828)

(1頭, XI-6) 牛小屋近くのドラム缶内のたまり水にて採集。

クワガタムシ科 Lucanidae

タカラヒラタクワガタ *Serrognathus platymelus takaraensis* Fujita et Ichikawa, 1985

(死亡して間もない1♂, XI-2) 岩下憲雄氏が以前採集し, 飼育中に死亡したものをもらったもの。

コガネムシ科 Scarabaeidae

※ オキナワコアオハナムグリ *Oxycetonia forticula forticula* (Janson, 1881)

(1頭, XI-2 ; 3頭, XI-3 ; 2頭, XI-5 ; 3頭, XI-6) フヨウの花にもぐりこんでいる個体が多い。

リュウキュウツヤハナムグリ *Protaetia pryeri pryeri* (Janson, 1888)

(死骸の1頭, XI-2) 牛小屋の雨といに落下死亡していたもの。

タマムシ科 Buprestidae

ウバタマムシ宝島亜種 *Chalcophora japonica takarajimana* Y. Kurosawa, 1974

(1♀, XI-3 ; 死骸の1♀, XI-3) 死骸の1♀は路上の轢死個体。

テントウムシ科 Coccinellidae

クリサキテントウ *Harmonia yedoensis* (Takizawa, 1917)

(1頭, XI-5 ; 1頭, XI-8)

カミキリムシ科 **Cerambycidae**

トカラキボシカミキリ *Psacotha hilaris macronotata* Hayashi, 1956

(1頭, XI-7; 死骸の1頭, XI-8) 死骸の1頭は集落内の側溝にて採集。

ハムシ科 **Chrysomelidae**

オキナワクビナガハムシ *Lilioceris formosana* Heinze, 1943

(1頭, XI-7)

ウリハムシ *Aulacophora femoralis* (Motschulsky, 1857)

(1頭, XI-2)

Ⅵ ハチ目 **HYMENOPTERA**

ツチバチ科 **Scoliidae**

ヒメハラナガツチバチの沖縄亜種 *Campsomeris annulata* (Fabricius, 1793) sub sp.

(2♀, XI-5)

ドロバチ科 **Eumenidae**

クロスジスズバチ *Delta esuriens okinawae* G.S.

(1頭, XI-2)

ムロタドロバチ *Rhynchium quinquecinctum murotai* Tano, 1983

(1頭, XI-2; 1頭, XI-3; 1頭, XI-8)

スズメバチ科 **Vespidae**

セグロアシナガバチの亜種 *Polistes jadwigae* Dalla Torre, 1904 sub sp.

(1頭, XI-8)

アナバチ科 **Sphecidae**

キゴシジガバチ *Sceliphron madraspatanum kohli* Sickmann, 1894

(1頭, XI-3)

コシブトハナバチ科 **Anthophoridae**

※ アマミクマバチ *Xylocopa amamensis* Sonan, 1934

(2頭, XI-3) フヨウの花にきている個体をときどき見かける。

Ⅶ ハエ目 **DIPTERA**

ハナアブ科 **Syrphidae**

ハナアブ *Eristalis (Eristalis) tenax* (Linnaeus, 1758)

(1頭, XI-6)

エゾコヒラタアブ *Metasyrphus (Metasyrphus) corollae* (Fabricius, 1749)

(1頭, XI-2)

VII チョウ目 LEPIDOPTERA

セセリチョウ科 HesperIIDae

イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata* (Bremer et Grey, 1852)

各地で普通に目撃

アゲハチョウ科 Papilionidae

モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler, 1881

(1 ♀, XI-2) ハイビスカスによく訪花する。各地に普通。

ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* von Siebold, 1824

(1 ♀, XI-9) 1 個体を採集したのみ

シロチョウ科 Pieridae

キチョウ *Eurema hecabe* (Linnaeus, 1758)

(1 頭, XI-4 ; 1 頭, XI-5) あまり多くない。

ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe liukiensis* Fruhstorfer, 1898

(2 ♂ 1 ♀, XI-3 ; 5 ♂, XI-4 ; 2 ♂, XI-5 ; 1 ♂, XI-6 ; 1 ♂, XI-9) ハイビスカス, フヨウによく訪花する。各地に普通。

モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* Boisduval, 1836

(1 ♂, XI-9) 1 個体を採集したのみ。

シジミチョウ科 Lycaenidae

ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus, 1767)

(1 ♂, XI-3)

アマミウラナミシジミ *Nakaduba kurava septentrionalis* Shirozu, 1953

(1 ♂, XI-7) 1 頭を採集したのみ。

ムラサキツバメ *Narathura bazalus turbata* (Butler, 1882)

(1 ♂, XI-2 ; 1 ♂, XI-5)

ヤマトシジミ沖縄亜種 *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura, 1929)

(1 ♂, XI-5) 各地に普通。

テングチョウ科 Libytheidae

テングチョウ *Libythea celtis amamiana* Shirozu, 1956

(1 ♀, XI-9) あまり多くない。

マダラチョウ科 Danaidae

カバマダラ *Anosia chrysippus chrysippus* (Linnaeus, 1758)

(2 ♂, XI-4) 集落下の海岸近くに多い。トウワタも多い。

※ アサギマダラ *Parantica sita nipponica* (Moore, 1883)

(3 ♂ 1 ♀, XI-3) 普通に目撃。

リュウキュウアサギマダラ *Radena similis similis* (Linnaeus, 1758)

(1 ♂, XI-9) 1 個体のみ採集。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* (Linnaeus, 1758)

(数頭目撃, XI-5) アカタテハより少なかった。

※ ルリタテハ沖縄亜種 *Kaniska canace ishima* (Fruhstorfer, [1899])

(2頭, XI-2) 各地に普通。

キタテハ *Polygonia c-aureum c-aureum* (Linnaeus, 1758)

(1頭, XI-9) 1個体を採集したのみ。

アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst, 1794)

(1頭, XI-2; 1頭, XI-3) 各地に普通。

スズメガ科 **Sphingidae**

※ オキナワクロホウジャク *Macroglossum corythus platyxanthum* Rothschild et Jordan, 1903

(1頭, XI-3) フヨウによく訪花する。

ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta* Butler, 1875

(1頭, XI-3) フヨウによく訪花する。

ヒトリガ科 **Arctiidae**

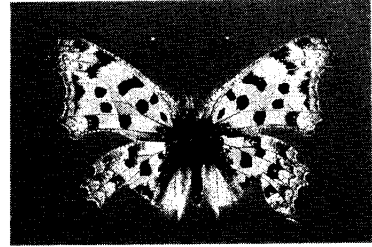
モンシロモドキ *Nyctemera adversata* (Schaller, 1788)

(1♂, XI-3)

シャクガ科 **Geometridae**

Abraxas 属の一種

(1頭, XI-4)



キタテハ

考察

11月初旬という初冬の時期で、昆虫類の種類数はあまり多くなかった。今回の記録の中で、注目すべき種としてはキタテハで、宝島では初記録と思われる。南西諸島での本種の記録は少なく、おそらく北方からの迷チョウと思われる。昨年は黒江氏が北方からの迷トンボと思われるスナアカネを1頭記録したが、今回は発見できなかった。

2 爬虫類

※ トカラハブ (クサリヘビ科) (※はカラー写真参照)

Trimeresurus flavoviridis tokarensis NAGAI

トカラハブは、宝島、小宝島だけにすむ固有の毒ヘビである。奄美大島などのハブに比べると生息密度が高く、今回の調査でも、数回見かけることができた。中でも11月8日は、岩下氏のトカラハブ捕りに同行し、島の北西部の一周道路からイマキラ岳に向けて旧金山跡まで登った。午前中かけて往復したが、その間に13頭のトカラハブを捕獲した。

13頭のうち大きな3頭は生け捕りにし、他の10頭は殺して持ち帰った。



採集風景 (岩下氏)

宝島の昆虫ほか



アカホシカメムシの幼虫 1994. 11. 5



オキナワコアオハナムグリ 1994. 11. 5



アマミクマバチ 1994. 11. 3



アサギマダラ 1994. 11. 9



ルリタテハ 1994. 11. 8



オキナワクロホウジャク 1994. 11. 9

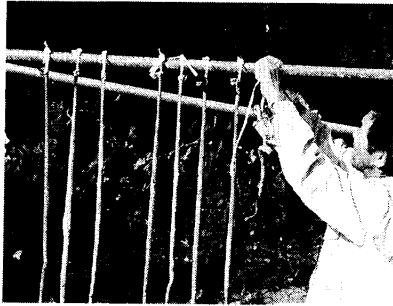


トカラハブ 1994. 11. 8



アオカナヘビ 1994. 11. 9

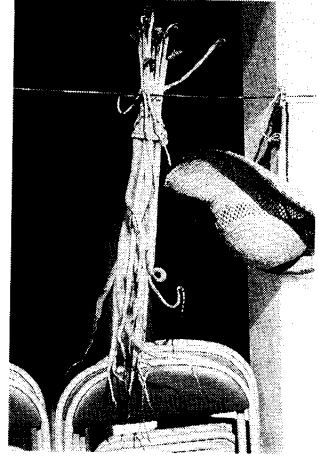
午後は殺した10頭のトカラハブを出荷販売用に処理することになった。まずトカラハブの頸部をひもでくくり、さおにつるして皮をはいだ。次に内臓を取り除いてそのまま乾燥させた。これらは数日間乾燥させた後、東京、鹿児島、沖縄などにラーメンのスープ用として販売され、強壯剤として人気があるという。生け捕りにしたトカラハブは、マンガースとの対決ショー用として売られるという。



竿に吊るすところ



皮をはぐところ



乾燥したトカラハブ

トカラハブの毒性はハブほど強くなく、咬まれると激しい痛みとはれが生じるが、生命を脅かすほどのことはなく、1週間ほど放置しておけば自然に治るといふ。しかし、その間入浴と飲酒は禁物で、岩下氏の知る宝島でのトカラハブの咬傷による死亡例として、酒に酔った青年が夜トカラハブに咬まれ、朝方には死亡していたという1例があるという。

このほか爬虫類では、リュウキュウアオヘビ *Opheodrys semicarinatus* (HALLOWELL) を3頭(死亡個体)、※アオカナヘビ *Takydromus smaragdinus* BOULENGERを多数目撃した。

参 考 文 献

- 平嶋 義宏 (1989) 日本産昆虫総目録 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター
 森田 忠義 (1991) トカラ列島の動物(哺乳類・爬虫類・両生類) トカラ列島学術調査書
 鹿児島県：167-178
 福田 晴夫 (1991) トカラ列島の昆虫類 トカラ列島学術調査書 鹿児島県：179-196